

【第2回 EST 普及推進フォーラム参加者募集中！ <http://www.estfukyu.jp/forum2.html>】

ESTメールマガジン 第 17 号(2007.12.25)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

## □目次

### 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 17 回)

#### ●「環境省におけるESTの実現に向けた取組」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 金丸 康夫】

### 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 17 回)

#### ●「大阪市港区および周辺地域におけるモビリティ・マネジメントの実施について」

【大阪市計画調整局計画部 長谷 徹】

### 3. ニュース／トピック

#### ●第 12 回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】

#### ●自動車NOx・PM法適合車ステッカー制度について【国土交通省・環境省】

#### ●使用段階における自動車の排出ガス性能に関する調査結果について【国土交通省】

#### ●液化天然ガス(LNG)を燃料とする大型トラックの公道走行試験を開始【国土交通省】

#### ●「環境ロジスティクス・データベース」の更新について【国土交通省】

#### ●「自動車排出ガスの量の許容限度」の一部改正について【環境省】

#### ●パーク&ライドでお得にGO！【仙台市】

#### ●ピアラシティ内店舗で買い物バス実証実験を実施します【三郷市】

#### ●あなたのエコドライブを宣言しませんか【豊田市】

#### ●IC カード「PiTaPa」に新サービス「利用額割引マイスタイル」登場【大阪市】

#### ●走るクルマの「振動」で発電 首都高五色桜大橋のイルミネーションを実施

【首都高速道路】

#### ●「平成 19 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の受賞

【東京電力、デンソー、大崎電気工業、日野自動車】

#### ●低床電池駆動路面電車「SWIMO」が完成【川崎重工業】

#### ●鉄道システム用地上蓄電設備による回生電力の再利用実証試験に成功

【川崎重工業】

### 4. イベント情報

#### ●第2回EST普及推進フォーラム

#### ●EST 及び省エネ啓発会議 ～環境に配慮した持続可能な交通(EST)を目指して～

#### ●交通エコロジー教室こうち 2007 ～環境にやさしい公共交通の利用促進を目指して～

#### ●まちづくりと交通政策の実践的アプローチ

-持続可能なまちづくりと公共交通の活性化・再生を目指して-

●エコカーワールド 2008in 神戸

5. その他

●記事募集中！

---

## 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 17 回)

●「環境省におけるESTの実現に向けた取組」

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 金丸 康夫】

(環境省水・大気環境局自動車環境対策課長)

インドネシア・バリ島にて今月開催された COP13、また国内では京都議定書目標達成計画の見直し、そして来年の北海道洞爺湖サミットでは環境・気候変動を主要テーマとして日本が目指すなど、地球温暖化問題は最近の国内外における最大の政策課題の一つです。その中で、CO2 排出量の大幅な削減を目指しつつ、あるべき都市交通の姿を求めていくESTは、今後ますます重要になってくると考えられます。

ESTの推進は、国や地方公共団体、交通事業者、そして利用者といった幅広い主体の連携により実現できるものであり、国や都市によってあるべき姿やその方策も異なります。つまり、様々な先進事例を参考にしつつ、自分たちの国あるいは都市、街がどうあるべきかを、主体間で議論しつつ推進することが重要となります。

そのため環境省では、様々な主体と連携しあい、ESTの推進に向けた意見交換や先進事例の共有化を促進する取組を国内及びアジア地域で行っています。国内では、ESTを先導する地域を対象とした利用者への普及啓発事業の支援やESTに関するシンポジウムの実施、また国際的な取組としては、アジアEST地域フォーラムを設立し、アジア各国の交通及び環境担当の政府高官による政策対話を行っており、平成 20 年 3 月 17-19 日にはシンガポールで第 3 回フォーラムを開催します。詳しくは環境省HP:

[http://www.env.go.jp/air/traffic\\_env/index.html](http://www.env.go.jp/air/traffic_env/index.html) をご参照ください。

環境省では今後とも、関係主体の皆様と連携を図りつつ、国内外におけるESTの実現に向けて取り組んでいきます。

## 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 17 回)

●「大阪市港区および周辺地域におけるモビリティ・マネジメントの実施について」

【大阪市計画調整局計画部 長谷 徹】

大阪市では、「大阪市における環境負荷の少ない都市内移動システムの確立」を目的に、主に港区などの周辺地域を対象にして、様々な施策の組み合わせによる取り組みを実施しています。

平成18年度は、こうしたESTモデル事業の一環として、「環境にやさしい交通をすすめるプロジェクト みなと」を立ち上げ、運送事業者や地域の産業会の協力を得て、トラックドライバーを対象としたTFP、事業所の従業員の方を対象としたTFPを実施しました。その結果、通勤交通での自動車利用率の削減や、業務交通における高速道路利用率の増加といった効果が現れ、年間換算で約 50t-CO<sub>2</sub> の排出量削減につなげることができました。

また、路上での実技実習をまじえたエコドライブ講習会の実施、「環境にやさしい未来のクルマと街」をテーマにした小学生対象絵画コンクールの表彰式にあわせた児童参加型交通環境啓発イベントの実施、ポータルサイトの開設と港区民へのチラシ配布によるESTの普及啓発を行いました。

平成19年度は、昨年度のトラックドライバー、事業所の従業員の方を対象にしたフォローアップ調査を行うとともに、新たに港区民を対象にしたTFPを行っています。また、自転車を活用した公共交通利用促進施策として、事業所に参加を呼びかけ、1か月間のレンタサイクルプロジェクトの試験的な実施を行っています。

今後は、こうした取り組みの結果を分析し、効果を測定すると共に、課題や問題点などについても整理していきたいと考えています。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●第12回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】

環境にやさしい鉄道貨物輸送を活用して、地球環境問題に積極的に取り組んでいる商品・企業であることを表示するエコルールマークについて、平成19年12月6日(木)に第12回「エコルールマーク運営・審査委員会」が開催され、新たにエコルールマークの商品(4件)と取組企業(1件)を認定することが決まりました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/08/081207\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/08/081207_.html)

#### ●自動車NO<sub>x</sub>・PM法適合車ステッカー制度について【国土交通省・環境省】

国土交通省・環境省は、「自動車NO<sub>x</sub>・PM法適合車ステッカー制度」を開始します。この制度は、自動車NO<sub>x</sub>・PM法上の排出基準に適合している全国のトラック・バス等に対し「自動車NO<sub>x</sub>・PM法適合車ステッカー」を貼付し、排出基準の適合車か否かの判別を容易にするものです。この制度により、排出ガス低減性能のより良い自動車の使用が促進され、大都市圏の大気環境の更なる改善が図られることを期待しています。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091203\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091203_.html)

#### ●使用段階における自動車の排出ガス性能に関する調査結果について【国土交通省】

国土交通省は、交通安全環境研究所に委託して、使用過程にある車両の排出ガス性能の実態把握を行うとともに、使用過程においても、法令で規定する規制値に適合してい

るかどうかを判定する仕組みとしての「市場抜取試験(サーベイランス)制度」を構築するための調査を行いました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091219\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091219_.html)

●液化天然ガス(LNG)を燃料とする大型トラックの公道走行試験を開始【国土交通省】  
国土交通省では、「次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクト」の対象車種の一つとして、液化天然ガス(LNG)を燃料とする大型トラックの開発を進めているところです。このたび、燃料供給ステーションがある東京都荒川区南千住から福島県いわき市周辺までの一般道や高速道路において公道走行試験を実施することとしました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091218\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/091218_.html)

●「環境ロジスティクス・データベース」の更新について【国土交通省】

国土交通省は、当省ホームページで公表している各企業の「ロジスティクスに関する取り組み」を、各企業が発行した平成19年版「環境報告書」等に対応して10月時点における内容に更新しました。今後も本データベースの更なる充実を図ることにより、各企業の「環境経営」面での意識の高揚や環境に優しいグリーン物流の促進を図りたいと考えております。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/15/151126\\_2\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/15/151126_2_.html)

●「自動車排出ガスの量の許容限度」の一部改正について【環境省】

環境省は、平成17年4月の中央環境審議会答申「今後の自動車排出ガス低減対策のあり方について」を受けて、自動車排出ガス規制を強化するため、大気汚染防止法に基づく「自動車排出ガスの量の許容限度」(昭和49年1月環境庁告示第1号)を一部改正し、平成19年12月13日付けで公示しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9156>

●パーク&ライドでお得にGO!【仙台市】

仙台市交通局では、スポーツ観戦時における地下鉄利用の促進を図るため、仙台89ERSとのコラボ企画「パーク&ライドでお得にGO!」として、ホームゲーム観戦チケットに地下鉄1日券と泉区役所駐車場利用券がセットになったペア観戦パックを発売します。

<http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/houdou/07/071204-89ers.html>

●ピアラシティ内店舗で買い物バス実証実験を実施します【三郷市】

三郷市では、国土交通省関東運輸局と共同で、公共交通活性化総合プログラムの一環として、ピアラシティへ行くバスの増便及びバス運賃の割引サービス、ピアラシティ内各店舗における割引サービス等を盛り込んだ、「買い物バス実証実験」を実施します。

<http://www.city.misato.lg.jp/contents/Contents.asp?CONTENTNO=2662>

●あなたのエコドライブを宣言しませんか【豊田市】

豊田市では、一般家庭から排出される CO<sub>2</sub> の約 34% が自動車に起因することから、地球温暖化対策のひとつとして「エコドライブの推進」に重点的に取り組んでいます。そこで WEB 上に「豊田市エコドライブ宣言」ページを作成し、簡単に登録できるシステムを作成しました。

[http://www.city.toyota.aichi.jp/division\\_n/aj00/aj02/tanto/ecodrive/index.html](http://www.city.toyota.aichi.jp/division_n/aj00/aj02/tanto/ecodrive/index.html)

●IC カード「PiTaPa」に新サービス「利用額割引マイスタイル」登場【大阪市】

大阪市交通局では、IC カード「PiTaPa」の新割引サービスとして、特定の区間を頻繁に利用する人向けに、支払い額に上限を設定する「利用額割引マイスタイル」を平成 20 年 3 月 1 日から実施します。また、退職を境に市営交通を利用する機会が減少するシニア層に、引き続き市営交通を利用してもらうことを目的として、シニア向けのサービス「利用額割引フリースタイル(シニア)」を平成 20 年 4 月 1 日から 1 年間試行的に実施します。

<http://www.kotsu.city.osakajp/news/houdou/h19/071212.html>

●走るクルマの「振動」で発電 首都高五色桜大橋のイルミネーションを実施【首都高速道路】

首都高速道路は現在、1 日 115 万台 200 万人によって利用されています。首都高を走るクルマの振動エネルギーを、電気エネルギーに変換し発電するという、未来へつながる ECO な試みが五色桜大橋のイルミネーションでスタートします。

<http://www.shutoko.jp/company/press/h19/071210/index.html>

●「平成 19 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の受賞【東京電力、デンソー、大崎電気工業、日野自動車】

東京電力株式会社、株式会社デンソー、大崎電気工業株式会社、日野自動車株式会社の4社は、環境大臣より「平成 19 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」(「技術開発・製品化部門」)を受賞しました。この受賞は、トラックの「外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム」が、環境面・安全面において高く評価されたものです。

<http://www.hino.co.jp/j/corporate/newsrelease/pressrelease/detail.php?id=181>

●低床電池駆動路面電車「SWIMO」が完成【川崎重工業】

川崎重工は、車載用ニッケル水素電池「ギガセル」を搭載した次世代型低床電池駆動 LRV「SWIMO」を完成しました。これは、車載用に密閉・コンパクト化した「ギガセル」電池を座席下へ搭載し、バリアフリーに対応した広い低床スペースを確保するとともに、ブレーキをかける際に発生する電力(回生電力)を蓄えることにより、大幅な省エネルギーを実現した、人にも地球にも優しい車両です。また、架線インフラが不要となるほか、路線の新設や延伸が容易になるなど、鉄道事業者のニーズに配慮した車両システムの構築を可能とします。

[http://www.khi.co.jp/khi\\_news/2007data/c3071119-1.htm](http://www.khi.co.jp/khi_news/2007data/c3071119-1.htm)

●鉄道システム用地上蓄電設備による回生電力の再利用実証試験に成功【川崎重工業】

川崎重工は、自社開発の大型ニッケル水素電池「ギガセル」を利用した鉄道システム用地上蓄電設備により、車両がブレーキをかける際に発生する回生電力を再利用する実証試験に成功しました。これにより、鉄道システム全体の電力使用量や契約電力が削減できるほか、変電所の新設コスト抑制が期待できるなど、鉄道の省エネルギー化や環境負荷の低減に貢献します。

[http://www.khi.co.jp/khi\\_news/2007data/c3071217-1.htm](http://www.khi.co.jp/khi_news/2007data/c3071217-1.htm)

---

#### 4. イベント情報

●第2回EST普及推進フォーラム

日時:2008年1月25日(金)10:00～16:25 (9:30 受付開始)

場所:丸ビルホール

主催:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会

<http://www.estfukyu.jp/forum2.html>

●EST 及び省エネ啓発会議 ～環境に配慮した持続可能な交通(EST)を目指して～

日時:2008年1月11日(金)

会場:グランシップ1001-1会議室(「東静岡駅」南口すぐ)

主催:環境省関東地方環境事務所(静岡市共催)

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/kotu/est-shoeneikaigi.html>

●交通エコロジー教室こうち 2007 ～環境にやさしい公共交通の利用促進を目指して～

日時:2008年1月12日(土)11:00～16:00

場所:ひろめ市場(高知市)ほか

主催:四国運輸局、NPO高知市民会議

<http://www.skt.mlit.go.jp/su/info.php?id=995>

●まちづくりと交通政策の実践的アプローチ

-持続可能なまちづくりと公共交通の活性化・再生を目指して-

日時:2008年1月28日(月)10:00～17:00

場所:エルおおさか(大阪府立労働センター)南ホール

主催:国土交通省近畿運輸局(神戸運輸監理部共催)

<http://jsce.jp/index.pl?section=event>

●エコカーワールド 2008in 神戸

日時:2008 年 5 月 17 日(土)12:00~17:00

5 月 18 日(日)10:00~16:00

場所:神戸メリケンパーク等(野外オープンスペース)

主催:エコカーワールド2008 in 神戸実行委員会

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9073>

---

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)(担当:市丸)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局  
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail:[EST@ecomor.jp](mailto:EST@ecomor.jp)

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>